



ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会

News

(138)

2020年4月1日
発行
ルーテル学院大学
日本ルーテル神学校
後援会
編集
推進委員会
<http://www.luther.ac.jp/>
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611
FAX: 0422-33-6405

ご入学おめでとうございます (愛情を注がれる人から注ぐ人へ)

後援会会長 竹内 茂子



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校後援会を代表いたしまして心よりお祝いを申し上げます。

人は愛情を注がれて育てられた経験を通して、他者にも愛情をもって接することが出来るようになる……と聞いたことがあります。それは、ルーテル学院の少人数制による教育理念「一人ひとりを大切に」に通じるものです。皆様はそれぞれの胸にこれから自分の進む道を思い描きながら、この学院へ入学されてきたと思います。その思いが実現し、社会の現場に飛び立つまでの学院での学びの日々が豊かであり

ご支援に感謝



昨年度も後援会から日本ルーテル神学校とルーテル学院大学に、全国のルーテル教会、

教会員の皆様から寄せられた多大のご寄附をいただきました。また、卒業生の皆様には母校を覚えて祈り、保護者の皆様からはこの学院での教育に期待を込めていただき、それぞれから貴いご寄附をいただきました。誠にありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。非常に厳しい社会情勢の中で、これほど多くの方々のご支援をいただいています。ことを常に心に留め、神さまの恵みと導きに感謝し、職員と共にそれぞれに与えられた教育

の業に専心して参ります。三月の卒業式は、コロナウィルスの感染が広がっている中、ルーテル学院でも卒業生と専任教職員だけの寂しいものとなりました。しかし、そのような中でも、卒業生の多くがこのチャペルでの礼拝の時間に心に響いた聖書のみ言葉の言葉を思い起こしていただくことを祈りながら、自宅で祈りを共にしておりました。皆様の献金で設置されたパイプオルガンの音色は、何気なくチャペルに足を踏み入れた学生にも、自らの雑念をばし忘れさせてくれるのではないのでしょうか。そして、神さまのみ言葉に触れる瞬間が与えられるのではないかと、皆様への感謝の心を新たにしています。

学校法人ルーテル学院理事長 松澤 員子

ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校後援会とは

本学院の設立母体である日本福音ルーテル教会と日本ルーテル教団諸教会の信徒運動としてスタートした、ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校を物心両面で後押しする団体です。教会員や卒業生、保護者に限らず、学院を愛し、後援会の働きにご賛同いただける方はすべて後援会会員です。

2020年度 前期活動予定

- 4月30日(木) 【拡大全国世話人代表会】(J東京教会)
※対象の方にはご案内をお送りいたします。
- 6月18日(木) 【ルーテル学院一日体験】(ルーテル学院)
- 6月20日(土) 【関西一日神学校】(J大阪教会)
- 7月18日(土) 【首都圏世話人会】(J東京教会) ※J=日本福音ルーテル教会



2020年度 後援会募金のお願い

目標額 2,500万円

ルーテル学院へのご寄附は寄附金控除が受けられます。「税額控除制度」をご利用いただくと、10,000円のご寄附で3,200円が控除されます。(ただし、神学校とデール・パストラル・センターを指定した寄附金は税法上の規定により控除対象外となります)

ようこそルーテル学院へ

「ほんの少し、勇気を出して」

臨床心理学専攻 修士課程二年 田近 裕花

新たなステージを踏み出した新入生の皆様、誠におめでとうございます。この緑と鳥の声あふれる豊かな学び舎において、あなた方と共に感じ、同じ師のもとで学び、人に仕える道に生きるべく共に研鑽を積んでゆけることを大変光栄に思います。胸ときめく希望と期待の陰に時折覗く不安もおありでしょう。でもどうか恐れなないで。人生を輝かせるコツはほんの少しの勇気を出すことだと思います。挑戦する勇気、自分を見つめる勇気、受け容れる勇気

推進委員の動静

二〇二〇年度の推進委員

竹内茂子(会長)、小澤周司(副会長)、加藤裕子(副会長)、石原京子(市ヶ谷)、古財武久(保谷)、安田やまと(都南)、菊池一生城(都南)、山根洋子(三鷹)、中村曉美(浦和)、竹内章浩(鶴沼めぐみ)、神月靖(六本木)、遊佐信生(同窓会)、石居基夫(学長)、立山忠浩(校長)、齋藤衛(准教授)、宮本新(専任講師)、坂田好和(事務長)、岡田由美(事務局)

二〇一九年度に就任 三名

山根洋子

ルーテル学院大学では社会人編入とはいえ、本当に楽しく充実した大学生を送りました。この素晴らしいさを後に続く方たちにも分けてあげたいと思い、推進委員になりました。後援会はサポーター募集中です。一人でも多くの方からの応援待っています。(J三鷹教会/卒業生)

。眼を開き、心の声を聴き、その呼ぶところに従って思うがままに日々を過ごしてください。その積み重ねがきっと私達を素敵なところに連れて行ってくれます。

「安心して、迷いながら」

新発田ルーテルキリスト教会 教職 中川 祐子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな希望と期待を胸にしておられることでしょう。私が神学校の前に、臨床心理学科に編入学したのは八年前、三十年近くの社会人生活を経てでした。若い皆さん

神月 靖

一九五九年京都市生まれ、一九八九年以来東京暮らしで現役で働いています。私のような浅学の者が推進委員を務めるとは、思いもしていませんでしたが、これを機会に学びに務め、役割が少しでも果たせたらと思います。諸兄弟のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。(N六本木教会)

竹内章浩

どの時代においても、大切なものは「心」です。その心は生涯かけて育て、成長していきます。その心の成長としての大事な時をこのルーテルで過ごすこと、キリストの心になれることを大切に思っています。後援会の一員として皆様のお役に立てるようがんばります。(N鶴沼めぐみ教会)

二〇一九年度で退任 三名

網 春子

私は社会人入学で学びました。神と人に仕える人材を育成するルーテル学院大学・神学校は教会の宝です。推進委員の奉仕を通して多くの方と出会い、沢山の恵みに感謝致します。(J聖パウロ教会/卒業生/二〇二二年〜推進委員)



2020年2月21日 推進委員会

「光あれ」
(創世記1:3)
(N鶴沼めぐみ教会/二〇一四年〜推進委員)

伊藤百代

四十数年前に後援会の補助員としてスタートし、目標額六〇〇万円が初回のお願いでした。時代は変わりつつも、神学生の【献身】、大学・神学校への【献財】は変わることはありません。職員として、推進委員として後援会にかかわり、育てて頂きました。ありがとうございます。(J東京教会/元職員/二〇一三年〜推進委員)

田坂 仁

推進委員会に六年間関わらせていただき、主なる神に感謝いたします。ルターの信仰に立ち、真摯な教育活動を推進する学院の未来に上からの光が降り注ぎ、祝福がありますように祈り続けます。ルーテル学院に、とこしなえ